

まちかどスケッチ

まちかどスケッチに掲載できなかった市内の話題は、市のホームページで見ることができます。

10/29 かえで保育園の園児が、ぎふ清流国体マスコット「ミナモ」とダンスを楽しみました。

かえで保育園で29日、「ミナモ体操・ダンス出前教室」が行われました。これは、2012年（平成24年）の「第67回国民体育大会・ぎふ清流国体」開催をアピールするため、県内各所で実施されているものです。

ミナモ体操で体をほぐした園児たちは、ぎふ清流国体の大会ソング「はばたけ、未来へ」という曲にあわせ、ミナモダンスに挑戦。ジャンプや駆け足が取り入れられたダンスを、ミナモやミナモダンサーズと踊り、楽しいひとときを過ごしました。

教室終了後、園児たちはダンスを教えてもらったお礼として、大会ソングの歌をミナモにプレゼントしました。



園児たちは、テレビなどで活躍する佐藤弘道さん振り付けによる「ミナモ体操」「ミナモダンス」を楽しみました。

11/1 片知ふくべの森「瓢祭（ふくべまつり）」が、多くの来場者で賑わいました。



紅葉美しいふくべの山々に、地元の下牧保育園児による和太鼓演奏が響きわたりました。

片知のふくべの森で1日、「瓢祭（ふくべまつり）」が開催されました。これは、片知溪谷の紅葉を楽しみながら、地域の人たちが楽しく過ごそうと地元住民（片知イベント推進協議会）の企画によって実施されているものです。

この日は、メイン会場での太鼓演奏やビンゴゲーム、餅まきなどのイベントや、マス釣り大会、ボルダリング体験などが行われ、地域の人や家族連れなどで賑わいました。

また、豚汁の無料配布、瓢餅（ふくべもち）やおでん、蜂ごはんなどの販売も行われ、人々は紅葉のすずむふくべの秋景色を眺めながら、舌つづみをうっていました。

10/28 国際交通学会が、美濃市のすすめるサイクルシティ構想の視察を実施しました。

交通社会の現状および将来のあり方について調査研究を行っている国際交通安全学会（東京都）のメンバーが、美濃市がすすめる自転車を活用したまちづくり「サイクルシティ美濃」を調査するため27日、28日の2日間にわたって、美濃市を視察しました。

今回美濃市を訪れた同学会の代表を務める香川大学土井健司教授など8人は、高齢者の利用の多い施設や整備を予定している自転車道、うだつの上がる町並みなどを実際に見て回りました。現地視察の後には、土井教授による講演会のほか、学会メンバーと集まった市民、関係者との意見交換会が行われ、活発な意見交換が行われました。



香川大学の土井教授から、超高齢化社会に必要な移動手段のありかたなどについての講演が行われました。

—今月の表紙から—

「美濃・紙の芸術村作品展が12月4日（金）から開催されます。」

平成9年から行われている「美濃・紙の芸術村」事業では、28カ国、78人のアーティストを美濃市に迎えました。今年度の4人は美濃市で得たものをどのようなアートにしたのでしょうか。

広報

みの

平成21年12月1日発行 No.761

■編集・発行

美濃市役所 総務部 総合政策課

TEL 0575(33)1122

FAX 0575(35)2059

http://www.city.mino.gifu.jp

■広報みのに関するご意見・ご感想、

まちの話題などは、総合政策課広

聴広報係（内線343）まで

E-mail:kouhou@city.mino.lg.jp

18